



キャッチフレーズ

「わくわく登園 満足降園 建幼の子」



一つのことに向かう力

12月1日(日)に、なかよし発表会を開催しました。多くの拍手の中で、会場全体がにこにこの笑顔で包まれました。

劇は、クラス全体で共通のイメージをもち、言葉のやり取りや体全体を使った表現などで構成されています。子どもたちは、役になりきり思いを伝えていました。発表会の練習を通して、一つのことに向かう力を発揮した子どもたちです。



やさしさいっぱい縦割り保育

12月4日(水)に、縦割り保育を行いました。縦割り保育は、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊びながら、様々なことを身に付けていきます。例えば、年上に優しくしてもらうことで、自分自身も年下に優しく接するようになります。

また、年齢が異なるため、遊び場所、内容等に配慮して実施しています。みんなが、楽しみにしている時間です。



【はないちもんめ・だるまさんが転んだ】

子どもの人権



12月10日は「人権デー」でした。

子どもは、自分が大切にされていると感じることで自分のことが好きになります。そして、周りの人たちも自分と同じように大切な存在と気づき、社会の中でよりよく生きようとする意識が培われていきます。

園では、一人ひとりが大切にされていると感じられるような関わりを大切にしており、その例をご紹介します。

- 1 自然な雰囲気であいさつをして、うれしい気持ちになることを伝えています。
 - 2 「仲間に入れて」「いいよ。」「今、いっぱいだから入れないよ。」「いいよ。入れてあげる。」など、自分たちで解決策を出し合い、遊びを進めていけるようにしています。時には、職員が仲介役になることもあります。
 - 3 「みんなで頑張るぞ、オー！」の声掛けを全員で行い、共に高まる集団づくりにつなげています。
 - 4 各組では、うれしいこと、楽しいこと、つらいこと、困ったことなどは、みんなの考えを出し合う場として、話し合いを通して、問題を解決するようにしています。相手の気持ちに気がかせ伝え合えるようにし、思いやりの行動がとれたことを認め褒めています。
 - 5 職員が言葉の補い方や相手の気持ちを考えた丁寧な話し方(「どういえばいいかな?」)について援助しています。
- また、子どもの思いを代弁や補ったりしながら、言葉にならない思いを引き出し、子ども自身の言葉で表現させるようにしています。



【1月の目標】

- 冬休みのことやお正月のことをみんなで話したり、新しい年の希望や願いを先生と一緒に考えたりする。
- 元気で仲良く、友達との園生活を楽しむ。



【1月のうた】

- やぎさん郵便
- たこの歌
- すうじの歌



12月の「にこにこ」



【レタス・大根の植え付け「大きくなあれ！」】



【今年のお餅もとってもおいしかったです。ありがとうございました。】



【駐車場入口にガードレール設置】



【避難訓練（地震・火災）】



【クリスマス会】

★2学期が終了いたします。保護者の皆様には、運動会や発表会、餅つき会等の行事をはじめ、奉仕作業、たんぼぼ会、夏祭り、ベルマーク、サラダクラスなどにご支援、ご協力をいただきありがとうございました。子どもたちが、様々な体験を通して大きく成長した2学期となりました。皆様、よい年をお迎えください。

